

(福) ケアハウス信愛館

季節はもう秋。不順な天候の夏でしたが、暦通りに稲穂は色付き、澄んだ青空はよりいっそう高く、信愛館周辺は爽やかな空気に包まれています。信愛館四階にあるラウンジから眺める朝日の景色が素晴らしく、この風景を楽しみに、早朝から館内を散歩される入居者も見かけられます。信愛館では松本素史先生のご指導のもと、月一回「俳句会」が行われています。八月例会で入居者皆様が詠まれた句です。

エスカルゴ食べし異国や蝸牛 いさを
片陰に入りて母子の一休み めぐみ
蝸牛掌いやし角を出す ほたる
打水を避けて通るや下駄の音 しげを
ででむしの一日に似たる日を過し こう児
夏薊藪にうもれて紅一つ つゆ草

◆八月三日(木)「人権学習」が行われました。講師は丸山一美さん(信愛館評議員)にお願いし「一人ひとりが心豊か

に」子ども食堂を通してと題して講演していただきました。子供の生活について昔と現在を比較すると、まず親から子供への伝承がなく、そして子供は家の中で過ごし親は仕事という構図の中、子供は自分さえよければよいとなりがちで、他人を思いやる気持ちになかなか育たない。そこで食事を一緒に食べる事をきっかけにして子供たちとかかわりたいの思いから「はちまん子ども食堂」が始まった、と話されました。様々な人々がこの思いに賛同し、ボランティアの方々を中心に運営していると具体例を挙げての説明の後、最後に「おしゃれなおたまじやくし」の読み聞かせをしていただき、絵本の世界にも触れることができました。この講演をきっかけに、この活動に興味



を持たれた入居者が行動を起こしてくださることを願っています。

◆八月 信愛館玄関ホールに、「AED」自動体外式除細動器が設置されました。入居者の方が以前、仕事で使用されていた物を寄贈してくださいました。「使用方法」と題して説明書もご自分でお作りいただいたので、とても理解しやすく、入居者・職員を対象に講習もしていただきました。万が一の使用時には、落ち着いて扱えるように日頃から意識しておくつもりです。

